2024 年度　環境経営レポート

対象期間: 2024 年4月1日～　2025 年3月31日

COOL CHOICE

COOL CHOICE賛同証明書

地球温暖化対策のための国民運動
「COOL CHOICE(=賢い選択)」に
ご賛同いただいておりますことを
ここに証明いたします。

企業・団体名

株式会社ケアマスター

ご賛同日

2017/06/21

COOL CHOICE事務局

環境省
エコアクション21
認証番号0011297

作成日：　2025年6月30日
更新日：　2025年7月1日

株式会社ケアマスター

目　　次

項　　目	ページ
経営理念・環境経営方針	1
組織の概要	2
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	11

【経営理念】

一、私たちは、喜びと感動を第一に考え
　　安らぎのある住環境を提供し続けます。

一、私たちは、誇りと和を大切にし
　　豊かな価値を創造し続けます。

一、私たちは、環境・文化を大切にし
　　信頼される企業づくりを目指します。

株式会社　ケアマスター
代表取締役　　上田　稔

環境経営方針

　私たちは、清掃やメンテナンス、工事等の業務を通じて持続可能な社会の実現と「きれい」を維持することによって安心・安全な環境づくりを目指し、地球温暖化の緩和への取り組みや、地域の環境活動に自主的・積極的、継続的に取り組みます。

１．環境関連法規制を順守します。

２．社内の電力及び自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。

３．省資源・廃棄物削減・リサイクルの推進に努め、エアコン洗浄廃液や剥離洗浄汚水の回収を徹底し環境負荷軽減に努めます。（循環型社会の構築）

４．水道使用量の削減に取り組みます。

５．化学物質を含まない洗剤や保護剤の使用を推進し、化学物質使用量削減に努めます。

６．社内設備機器や資材など、環境に配慮した物品の購入を推進します。

７．お客様へ環境関連サービスを推進します。
・エアコン洗浄を推進し消費電力削減に貢献します。
・フロアコーティングや剥離の要らないメンテナンスシステムを推進し、環境負荷軽減に貢献します。
・フロアコーティング剤の販売促進を図り、ノンワックスの普及を図ります。

８．災害など緊急時への対応力を強化します。

９．地域の自治体等と連携し、地域の美化運動に取り組みます。

制定日：　2015年10月10日
改定日：　2021年7月7日

代表取締役　上田　稔

□組織の概要

更新日： 2025年6月30日

（1）名称及び代表者名
株式会社ケアマスター
代表取締役　上田　稔

（2）所在地
本　　社　　大阪府堺市堺区桜之町東１－２－３（2024年9月23日まで）
本　　社　　大阪府堺市堺区桜之町東１－２－５（2024年9月24日～）
旅篭倉庫　　大阪府堺市堺区北旅籠町東１－２－２５
洗浄工場　　大阪府堺市堺区桜之町東１－１－２４
東京支店　　東京都千代田区神田須田町１－２１－４
埼玉営業所　　埼玉県川口市江戸袋１－２１－２１

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　大阪支店　　**中武　惇**　　TEL：０７２－２２９－３０３３
担当者　　総務部　　**曽我部　沙矢**　TEL：０７２－２２９－３０３３

（4）事業内容
ハウスクリーニング及びビルメンテナンス事業
空調設備の保守メンテナンス及び工事
空調機器他洗浄事業

（5）事業の規模
売上高　　262 百万円
主要工事件数　　8 件

	本　　社	洗浄工場	旅篭倉庫	東京支店	合計
従業員　　名	17 名	0 名	0 名	4 名	**21**
延べ床面積　　㎡	180 ㎡	170 ㎡	96 ㎡	17 ㎡	**463**

建設業許可　管工事業　大阪府（般ー30）第140511号　令和5年12月6日～令和10年12月5日
電気工事業　大阪府　第2916-0268号
建築物飲料水貯水槽清掃業　登録　大阪府3貯第3－5　令和3年9月9日～令和9年9月8日
産業廃棄物収集運搬業　大阪府　第02700198016号
許可年月日平成29年12月4日　有効年月日令和9年12月3日
※自社運搬に使用

（6）事業年度　　4 月　1 日 ～　3 月　# 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　　株式会社ケアマスター
対象事業所：　　本　　社
洗浄工場
旅篭倉庫
東京支店
埼玉営業所

対象外：　　無し
活動：　　ハウスクリーニング及びビルメンテナンス事業
空調設備の保守メンテナンス及び工事
空調機器他洗浄事業

□事業の紹介

空調・電気工事事業

空調設備の新設工事に伴う設計施工や、パッケージエアコンやビル用マルチエアコンなどの更新工事や、それに付随する電気工事も行っております。

- ◆ 新築工事
- ◆ 更新工事

上記に伴う電気工事

清掃・メンテナンス事業

プロのおそうじを追求したハウスクリーニングや各種美装工事業務と店舗やビルにおける定期清掃や日常清掃業務を行っております。
またUVコーティングを使用したメンテナンスや特殊清掃なども、お任せください。

- ◆ 各種洗い工事
- ◆ 建築美装全般
- ◆ 店舗清掃
- ◆ ビル清掃
- ◆ 貯水槽清掃
- ◆ 排水管洗浄

UVコーティング事業

UVコーティングシステム「ウィナップ」の開発や販売、施工を行っております。また環境配慮型の新しい塗料開発も同時に行い、環境負荷軽減を目指しています。

wiup

- ◆ ウィナップシステムの企画、開発及び販売、施工

空調機保守メンテナンス事業

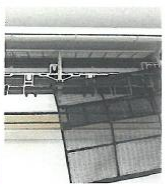
定期的なフィルター清掃や保守点検業務をはじめ、緊急時の故障対応や修理サービスを行っております。また業務用エアコン分解洗浄においては年間4,000台以上の施工実績があり、大型施設など多種多様な場面に対応しております。

- ◆ エアコン洗浄（家庭用・業務用）
- ◆ 保守点検業務
- ◆ 修理サービス業務

洗浄工場事業

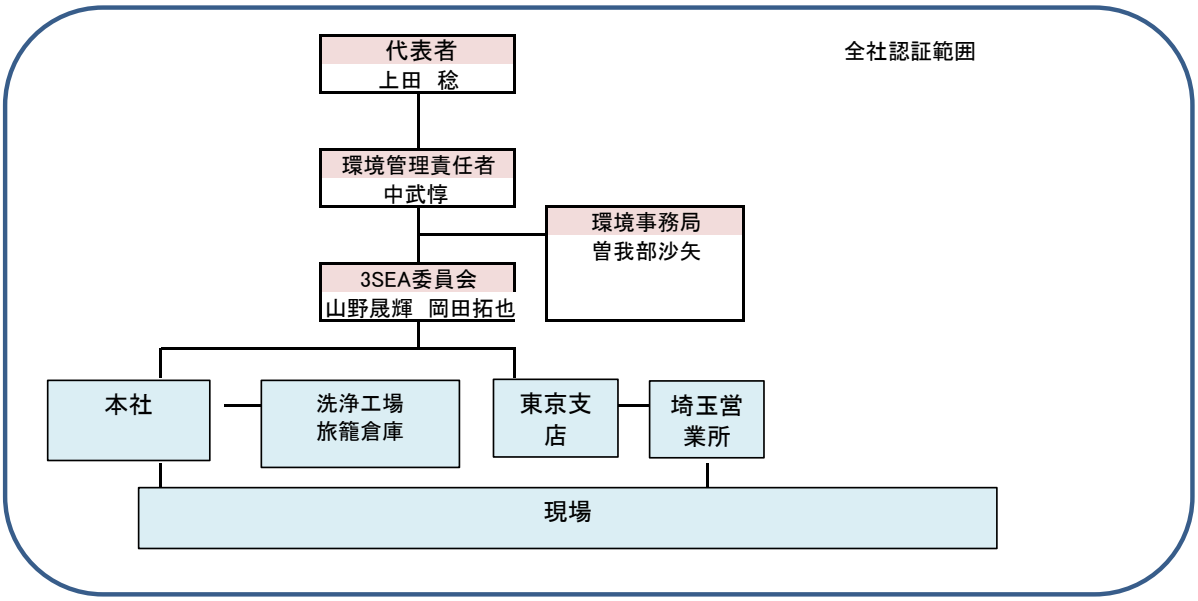
現場で汚水を出す事が出来ない工場や施設などのエアフィルターをはじめ、集塵機やグリスフィルターなどを弊社工場にて洗浄業務を行っております。洗浄業務をアウトソーシングいただくことで、人手不足や業務効率を上げるお手伝いをいたします。

- ◆ エアフィルター洗浄
- ◆ 集塵機洗浄
- ◆ グリスフィルター洗浄
- ◆ エアコン取り外し洗浄



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2024年8月26日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、3SEA委員会の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
3SEA委員会	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

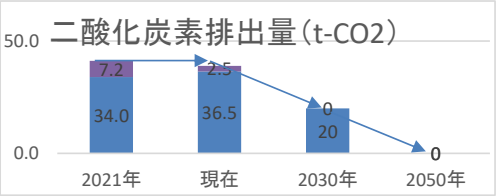
項　目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	35,239	43,832	38,594
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	164	170	187
産業廃棄物排出量	kg	22,531	18,286	23,358
水使用量	m^3	284	0	307

※二酸化炭素排出係数 本社　0.000　kg-CO2/kWh　シナネン㈱再エネ電力
（調整後の係数）　東京　0.456　kg-CO2/kWh　東京電力
※一般廃棄物は焼却ごみ
※産業廃棄物には有価物も含む
※負荷の実績は工事現場を含む

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO2

	Scope1	Scope2	対　策
2021年	34.0	7.2	
現在	36.5	2.5	省エネ+ハイブリッド車+再エネ電力
2030年	20	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力
2050年	0	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力



□環境経営目標及びその実績

項　目 ＼ 年　度		2023年（基準値）	2024年（目標）	2024年（実績）	評価	2025年（目標）	2026年（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	7,439	7,439	21,212	×	7,067	7,067
	基準年度比		100%	285%		95%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	36,393	36,393	35,655	○	36,029	35,665
	基準年度比		100%	98%		99%	98%
燃費	km/L	8.80		9.56	○		
上記二酸化炭素排出量合	kg-CO2	43,831	43,831	56,867	×	43,096	42,732
電力使用量の削減	kWh	19,552	19,552	24,719	×	18,574	18,574
	基準年度比		100%	126%		95%	95%
原単位	kWh/千円	0.026	0.026	0.081	×		
一般廃棄物の削減（可燃ごみ）	kg	170	119	187	×	119	119
	基準年度比		70%	110%		70%	70%
混合廃棄物の削減	kg	16,770	16,435	22,110	×	16,267	16,099
	基準年度比		98%	132%		97%	96%
原単位	kg/千円	0.059		0.084	×		
水道水の削減	m^3	298	298	307	×	298	298
	基準年度比		100%	103%		100%	100%
化学物質の適正管理	kg	0	0	30	×	0	0
	基準年度比		100%	#DIV/0!		100%	100%
コーティング剤の販売促進	kg		1,500	16	×	2,000	3,000
	売上目標			1%		133%	200%
サービスへの環境配慮（エアコン洗浄）	台	4,692	4,927	4,024	×	5,161	5,396
	基準年度比		105%	86%		110%	115%
環境に配慮した工事の推進	行動目標（次項による）						

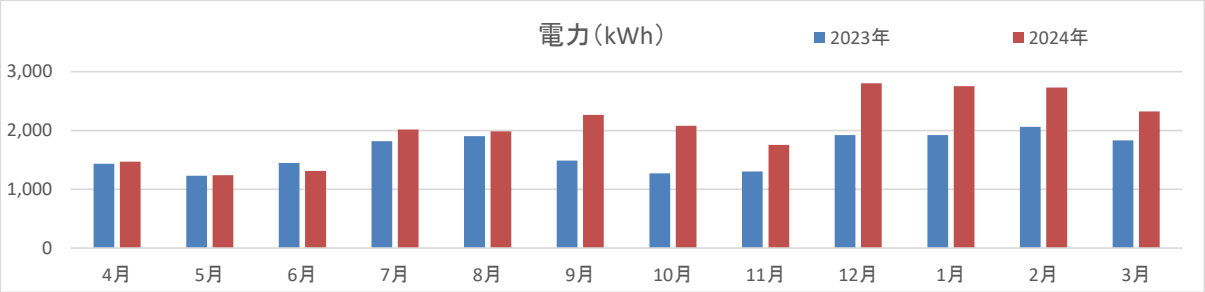
※灯油は少量にため目標としていない。
※その他、社内設備機器や資材など、環境に配慮した物品の購入を推進しています。COOL CHOICEにも賛同登録しています。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：〇達成　×未達成

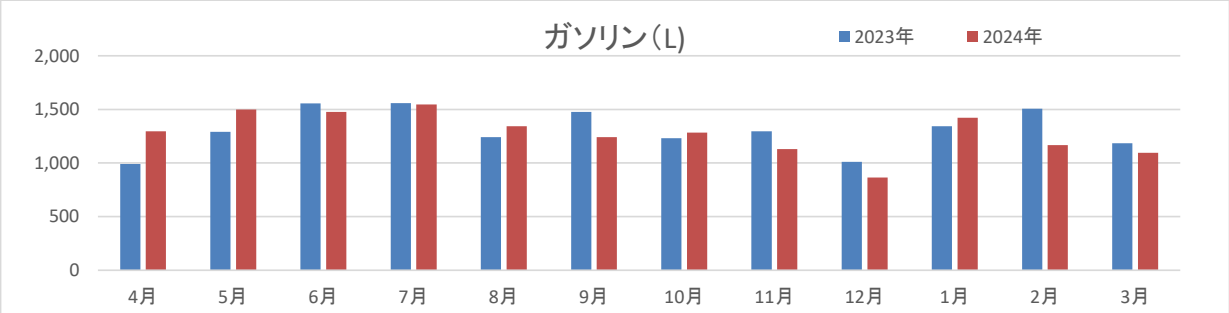
活動：◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	9月に本社を移転したため面積が広くなったため、電力の使用量が増えたため目標値から26%も超えてしまっていることからどういった部分で削減できるか考える必要がある。
・不要照明の消灯の徹底	〇	
・冷暖房の適正温度の周知	〇	
・使用していない部屋の空調の停止	〇	



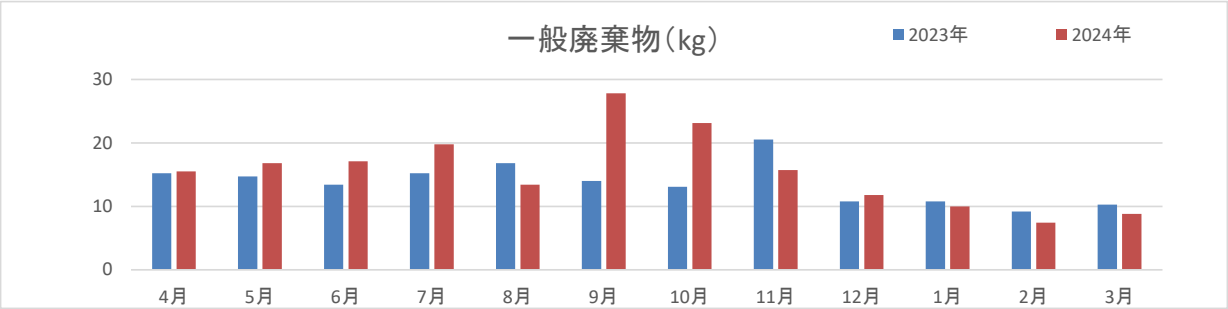
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	1,433	1,228	1,447	1,817	1,902	1,489	1,269	1,303	1,919	1,919	2,061	1,829
2024年	1,468	1,239	1,313	2,016	1,983	2,263	2,080	1,752	2,804	2,751	2,728	2,322

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	〇	累計評価の×個数は多くあったが目標に対しては達成することができた。 今後はドライブレコーダーなどを確認し、急発進や急ブレーキなどの回数を確認し、回数が増えたりしていたら注意を呼び掛ける。
・エコドライブの推進「急発進、急ブレー	〇	
・月1回タイヤ空気圧の点検	〇	
・適切な期間でのエンジンオイルの交換の	〇	



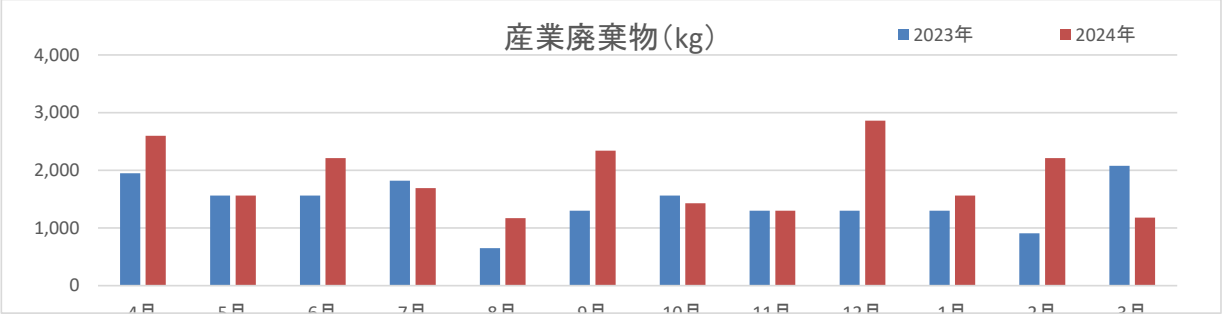
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	991	1,291	1,557	1,559	1,241	1,477	1,231	1,296	1,011	1,343	1,505	1,184
2024年	1,296	1,499	1,477	1,547	1,344	1,241	1,284	1,130	865	1,423	1,167	1,095

一般廃棄物の削減（可燃ごみ）	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	削減率20%は難しかったため、来期はこの結果を踏まえ調整が必要だと思う
・分別の徹底	○	
・使用済み用紙の裏面利用	○	
・ミスコピー防止の為、印刷前の設定確認	○	
・不要在庫削減	○	



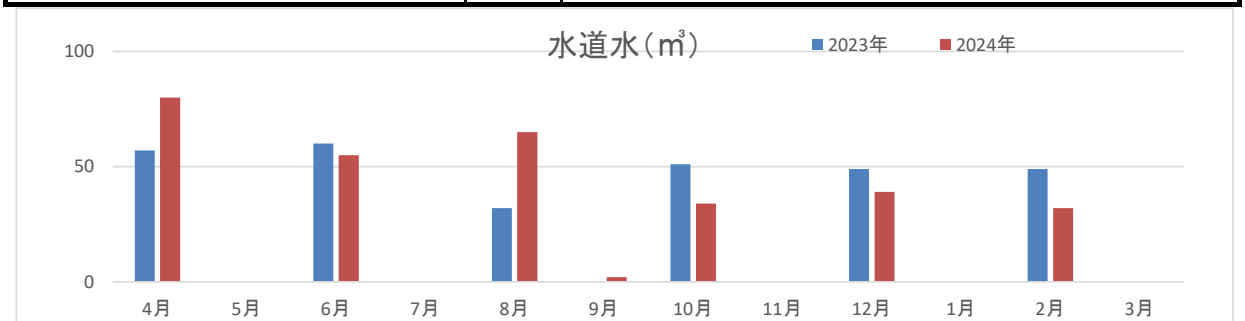
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	15	15	13	15	17	14	13	21	11	11	9	10
2024年	16	17	17	20	13	28	23	16	12	10	7	9

混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	引っ越し等で達成出来ない時も有ったが、分別を心掛け年度末は達成出来た時が多かった。 次年度も継続していく。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置及び利用の徹底	○	
・廃棄物管理票（マニフェスト）の管理	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	1,950	1,560	1,560	1,820	650	1,300	1,560	1,300	1,300	1,300	910	2,080
2024年	2,600	1,560	2,210	1,690	1,170	2,340	1,430	1,300	2,860	1,560	2,210	1,180

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	フィルター洗浄で使用水量が増加するが、今後とも節水を心掛ける。
・ゴミの事前処理の徹底	○	
・水質汚濁の少ない方法を考える	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	57	0	60	0	32	0	51	0	49	0	49	0
2024年	80	0	55	0	65	2	34	0	39	0	32	0

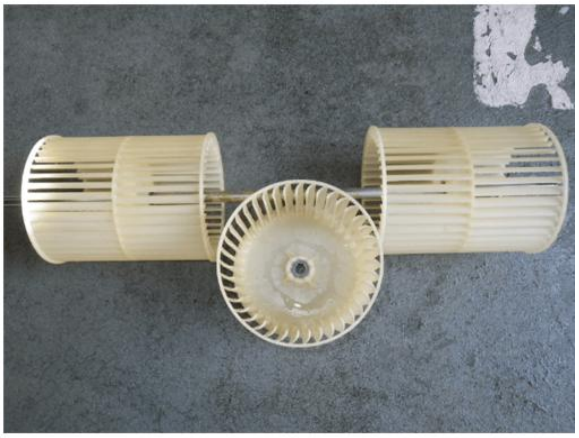
化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	PRTR物質の再確認を行った結果、PRTR物質は含まれていなかった。 引き続き環境に配慮した洗浄剤等の使用を行う。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・発注量の適正化	○	
・在庫管理による不良在庫の削減	○	

コーティング剤の販売促進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	展示会への出展が行有無多忙のため出演できなかった。 次年度は出展を目指す。
展示会へ出展	×	

サービスへの環境配慮（エアコン洗浄）	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今期実績が取れていないため、来期はきちんととるように徹底する。
・お客様への事前報告（騒音振動など）	○	
・エアコン洗浄の提案（売上目標）	△	
・現場への事前調査の徹底	○	
・洗浄廃液の持ち帰り徹底	○	
0		

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	顧客からのクレームもなく環境にに配慮した工事が実施できた。 引き続き効率的でミスがないような工事に心がける。
・作業ミスの防止	○	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実	○	

ファン洗浄前



ファン洗浄後

清掃管理

フロアコーティング床再生

ハウスクリーニング 美装・原状回復工事

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

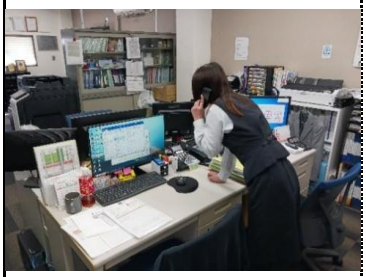
適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（混合、汚泥等）
水質汚濁防止法	有害物質の流出事故時の措置と届出
労働安全衛生法	SDS義務物質のリスク評価と適正管理
PRTR法	性状及び取扱に関する情報（SDS）の受取・発行
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	充填・回収量報告、記録の保存。業務用空調機簡易点検
顧客要求事項	指定化学物質の管理（非使用、基準遵守等）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定:　火災の発生	
■実施日：　2024年4月12日	■実施場所　本社
■参加者：　上田、中武、岡田、岡本、西川、永野、曽我部	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価：	手順書の変更の必要性 □ あり　☑ なし
訓練の内容としては問題なく、会社の住所も各自問題なく言うことが出来た。また、消火器の使い方・種類の内容・使用期限がいつまでなのかの確認も行った。	
■実施状況の様子 ・　緊急電話の風景　　v　避難誘導の風景　　隣の建物へ避難・集合	



部材の洗浄風景

部材洗浄前

部材洗浄後

エアコン洗浄 保守メンテナンス

空調・換気工事

給排水設備 清掃メンテナンス

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2025年6月30日

【前回の指示への取組結果】

東京支店分の経営計画・付加記録表の見直しを中心に、同友会環境部会が運営するエコアクションスクールに再度参加して取り組みました。中武委員長は新人ながら前向きに取組み、毎月の実績を記録するなど大きく変化しました。しかしまだ目標数値に対する行動が徹底されておらず今後に期待したい。

＜情　報＞		＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等） コロナ禍やウクライナ侵攻などの影響で物資不足や燃料高が懸念される		◇環境方針 環境方針の変更はありませんが、自社で新たに設定した10年ビジョンの大項目に「環境を追求する」と掲げました。2021年7月7日改訂版が最新
◇環境経営目標・計画の達成状況 化学物質使用量などはコーティング剤の取組みで改善しているが、一般ごみの量も取り組みによって減少しているが、産業廃棄物の排出量が増加しているので、ごみの分別を次年度は重点的に行う。	➡	◇環境経営目標・環境経営計画 目標・計画に変更はありません。
◇その他 今年度の数値を基準年として、次年度以降を取り組んでください。		◇実施体制他 まずは、目標を全社員で共有し、日々の業務において取り組む事、月1回の委員会でチェックを確実に行ってください。

【総括】

2024年度は担当者に任せきりで全社的に体系化される前に担当者が退職し、運用がうまく機能しなくなった事が大きな反省点です。次年度は各数値を確認する人、レポートへ入力する人、目標達成に向けてPDCAをまわす人を組織的に行います。
環境方針は変更しませんが、昨年自社で掲げた10年ビジョン「Vision2023」を目指して「環境」への取組みを強化します。社内でまずEA21の取組みを実践し、組織として運用できる体制を構築します。また、本社新築工事に伴うサイト変更が次年度に予測されるため、次年度の更新時に環境方針の見直し、サイト変更を行い基準年にしていく予定です。
また、環境に関わる新商品や新サービスの開発を進めるための情報収集を積極的に行ってまいります。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり
実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

1. 3S推進委員会

- 「整理」「整頓」「清掃」
- 道具の管理
- 月1回の清掃活動
- 毎朝の5分間清掃

3S推進委員会では、社内の「整理」「整頓」「清掃」活動を実施しています。
道具や工具置場の定位置化で殆どの道具に番号を振り分け、使用した後、定位置に戻せるように工夫をしています。 さらに洗剤などの在庫量も適正在庫量と発注単位を定め、少なくなったら誰でも注文できるしくみを取り入れています。
また、毎朝5分間の清掃活動や月1回の清掃活動で働きやすい職場環境を目指しています。
この3S活動を全社員で行う事で作業効率も上がり、より良い仕事づくりを心掛けています。

2. EA21推進委員会

- 燃料使用量の削減
- 水道光熱費の削減
- ゴミの分別とリサイクル
- 化学物質の使用抑制

EA21推進委員会では、エコアクションの取り組みとして主にCO_2の排出軽減と化学物質使用の抑制、その他地球環境に対するエコへの取り組みを行っています。
無駄なガソリン使用を無くすため、アイドリングストップ低燃費車の購入など燃費向上への取り組みや、ビニールやダンボールなど、ゴミの分別を徹底しリサイクルを実施しています。
エコアクションの取り組みを通じて限られた資源を有効活用し持続可能な社会づくりへの貢献を行っています。

3. 安全衛生委員会

- ヒヤリハットの記入推進
- 安全パトロールの実施
- 安全教育の実施

安全衛生委員会では、日々の作業での安全作業への推進活動を行っています。
帽子やヘルメットの着用をはじめ適切な身だしなみの徹底やヒヤリハットの記入推進、また、事故やクレームの根本的な原因追求と再発防止に向けた取り組みを行っています。

4. その他の取り組み

- 新入社員研修
- 技術講習
- 現場実地研修

新入社員への研修は大阪府中小企業家同友会が主催する「営業マネジメントコース(6ヶ月間)」に参加して研修を行っています。また必要に応じ、資格取得に向けた実地研修用途に合わせた技術研修を随時行っています。